

中学校第2学年 英語科学習指導案**単元名 : Lesson 6 My Dream****単元について****(1) 単元観**

本単元は、中学校学習指導要領外国語編では「(4)話すこと〔発表〕イ日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」の能力の育成をねらいとしている。文法的には、「(1)文構造、(ウ)文法事項の、(g) to不定詞」の習得を目指しており、不定詞を用いて夢を実現するために何をするのか詳しく説明できるように設定されている。

小学校外国語活動の教科書 We Can! 2 では Unit 8 “What do you want to be?” 「将来の夢・職業」の中で、自分の将来の夢を紹介する活動をしている。中学校1年生では自己紹介、2年生前期には、自分の好きな人を紹介する活動を行った。本校で設定している CAN-DO リストの「話すこと(発表)」にある、「自分自身のことや、自分の関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて、考えや気持ちをメモなどを見ながら話すことができる」という目標達成へのステップと考えている。

(2) 生徒観

小学校の外国語活動において自分の夢について紹介することは、音声面を中心としたコミュニケーション活動を通して慣れ親しんでいる。このことを踏まえ、中学校では、音声と文字をつなぐために英語を絵と文字とリズムで楽しむ発音練習や基本単語を定着させるペア活動等を繰り返し行い、基礎固めを行ってきた。その結果、積極的に授業に参加する生徒が多く、10月に行ったアンケートでは、「先生やALTが話す英語を理解しようと聞いている」生徒は93.9%いる。リスニング力は全般的に高く、前期期末試験では通過率80%を超えていた。一方、7月に行った Libero では、スピーチ原稿の英作文の通過率が全国の通過率より11%も低かった。文法に注意して英文を書くことはもちろん、まとまった量の英文を書くことに繰り返し取り組み、書く力をつける必要がある。

(3) 指導観

2年〇組の生徒は集団では積極的に授業に参加することができる。しかし積極的に発言する生徒は限られており、個別になると自信がなかったり、遠慮する生徒が多い。それを改善するために英語を聞いたり話したりする活動をできる限り多く設定する必要がある。まずは、教師が英語を積極的に使用し、生徒の身近なモデルとなる。次に、集団での練習、ペア練習、個別練習を繰り返し行い、英語を表現するための引き出しとなる基礎作りを徹底する。インプットした知識を自分の言葉でアウトプットさせる活動を通して英語を話すことに自信をもたせ、人前で話すことができる力を付けさせたい。

本単元においては、モデルになる教科書の英文をスムーズに言うことができるように練習を重ね、自分に必要な表現へとつながるように指導していく。

生徒が主体的に学習に臨めるように、各時間の導入部分で ICT を活用し、「こんな時どういえば良いだろう?」と思考させるような場面を作りたい。1つ1つの活動に意味を持たせ、各活動が最終ゴールにつながるよう、ワークシートを活用したり板書を工夫したりしてノート指導に生かしていく。

単元の目標**【本単元における本質的な問い】**

- ・自分のことをわかりやすく伝えるにはどのような英語の表現や発表方法を使うとよいのか。

【永続的理解】

- ・理由や目的を紹介するには不定詞を使うと良い。
- ・相手に伝わりやすく発表するためには、ゆっくり話したり目を見て話したりすると良い。

【単元を貫く課題】

ALTの先生とクラスみんなに、自分の夢についてスピーチしましょう。

【B評価の基準】

自分の将来の夢について理由も含め、70語以上でスピーチしている。

【B評価の例】

Hello, everyone. I'm ○○. I'm going to tell you about my dream. I want to be a pastry chef. I have two reasons. First, I like cooking. I'm good at making sweets. When I made sweets for my friends, they looked very happy and I became happy too. Second, I'm interested in wagashi. I want to tell people in the world about Japanese traditional culture through sweets. So, I want to be a pastry chef in the future. Thank you.

単元(題材)の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 聞き手に効果的に伝わるスピーチの仕方について考えている。 ② 間違ふことを恐れず、積極的にスピーチをしている。	① 自分の夢やその夢を実現するためにすることについて表現できる。	① スピーチを聞いて、その内容を聞き取ることができる。 ② スピーチの原稿を読んで、その内容を読み取ることができる。	① 不定詞の文構造を理解している。 ② 自分の夢を紹介する文を書くことができる。

本校で育成しようとする資質・能力とのかかわり

【主体性】物事を自分の事として捉え、積極的に関わろうとする。

- ・パフォーマンス課題を自分の課題として捉え、その解決に向けて積極的に関わろうとしている。

【思考力・判断力・表現力】知識や情報を活かしながら、論理的に思考する。

- ・クラスの人の発表や自分の発表を振り返り、良かった点・課題など適切な評価を行うことができる。

指導と評価の計画

(全時間 本時 12 / 20)

次	学習内容	評価規準 (評価方法)	関連する資質・能力
1	課題の設定		
	<p>《パフォーマンス課題》 今年は残念ながらありませんでしたが、中学校2年生では職場体験などを通して、自分の将来について真剣に考え始める時期です。自分が将来何をしたいのかしっかり考えましょう。また、なぜそれをしたいのか、理由も説明しましょう。原稿を準備し、クラスみんなやALTの先生に伝わりやすくするにはどうすれば良いか考え、スピーチしましょう。</p>		【主体性】
2	情報の収集(1) 整理・分析		
	不定詞(名詞用法)を用いて自分の夢について表現したり相手にたずねたりしよう。(4)	ウ①スピーチを聞いて、その内容を聞き取ることができる。(ワークシート)	

3	<p>情報の収集(2) 整理・分析</p> <p>不定詞(副詞用法)を使って理由をつけ足してみよう。(4)</p>	<p>ウ②スピーチの原稿を読んで、その内容を読み取ることができる。(ワークシート)</p>	
4	<p>情報の収集(3) 整理・分析</p> <p>不定詞(形容詞用法)を使って目的を付け加えて表現しよう。(3/4本時)</p>	<p>エ①不定詞の文構造を理解している。(後日テスト)</p>	【主体性】
5	<p>情報の収集(4) 整理・分析</p> <p>良いスピーチとは。(1)</p>	<p>ア①聞き手に効果的に伝わるスピーチの仕方について考えている。(ポートフォリオ)</p>	【主体性】
6	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>自分の夢やそれを実現するために頑張りたいことについてのスピーチ原稿を作成する。(4)</p>	<p>イ①自分の夢やその夢を実現するためにすることについて表現できる。(ワークシート)</p>	
7	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>自分の夢についてスピーチをする。(2)</p>	<p>ア②間違ふことを恐れず、積極的に自己紹介のスピーチをしている。(スピーチ)</p>	【思考力・判断力・表現力】

本時の学習

- (1) 本時の目標
グループで協力して不定詞の文を完成させ、自分のスピーチに使える表現を集めよう。
- (2) 評価規準
【言語や文化についての知識・理解】
不定詞の文構造を理解している。
- (3) 関連する資質・能力
【主体性】

(4) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (○) (◇「特別な支援を必要とする生徒」「◆努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て) (□ICTを活用した指導の工夫)	評価規準 ★観点 (評価方法) ※関連する資質・能力
<p>1 BINGO(4分)</p> <p>2 教科書音読 (3分)</p> <p>3 課題の設定とめあての確認 (2分)</p>	<p>○英語を学習する雰囲気を作る。</p> <p>○実際にスピーチすることを意識させるとともに、生徒の学習意欲を喚起する。</p> <p>◆ヒントシートは、必要に応じて使わせる。</p>	
<p>課題 : My Dream についてスピーチしよう。</p> <p>めあて : 並べ替えゲームを通して、グループで協力して不定詞を含む英文を書けるようになろう。</p>		
<p>4 Listening Activity 「いろいろな夢を知ろう！」 (16分)</p>	<p>○夢を紹介するスピーチのモデルを紹介する。</p> <p>○スピーチに必要な単語を聞き取り書く活動へとつなげていく。</p>	
<p>5 グループワーク グループで協力して不定詞の文を完成する。(20分)</p>	<p>○例を提示し、イメージをつかませる。</p> <p>○なるべくたくさんの英文に触れることで様々なパターン不定詞を作らせる。</p> <p>◇同じグループの人に教えてもらいながらも自分でワークシートに書くようにさせる。</p> <div data-bbox="587 1272 1441 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(生徒が書くべき英文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Tom studies hard to be a doctor. ・ I went to the park to see my friends. ・ Lisa came to Japan to study Japanese. ・ He bought a computer to play games. ・ I visited Ken's house to talk with him. ・ I got up early to do my homework. ・ I want to swim in the sea this summer. ・ He wants to play baseball with me. ・ My father started to wash his car. </div> <p>□電子黒板で答え合わせをする。</p>	<p>※【主体性】 ★不定詞の文構造を理解している。 (後日テスト)</p>
<p>7 まとめと振り返り(5分)</p>	<p>○本時で学習した内容で、自分のスピーチに使えそうな単語や英文を記録させる。</p>	

※太線囲みは言語活動